

リンゴ晩生種 ‘あおり15’

研究のねらい

‘国光’に替わる晩生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味が良く、貯蔵性の高い晩生品種として選抜された。

組み合わせ：‘ふじ’×青り3号（‘東光’×‘リチャードデリシャス’）

交 配 年 次：1970年（昭和45年）

登 録 出 願：2001年（平成13年）3月

樹 の 性 質：樹姿は中間型で、樹勢は中位である。短果枝が多い。生産力が高いが、隔年結果しやすい。3倍体品種ではないが、花粉の稔性が悪く、授粉用花粉としては利用できない。斑点落葉病には‘ふじ’より強い。

収 穫 時 期：10月下旬。長期貯蔵用には地色が上がりすぎないうちに収穫する。

果 実 特 性：大きさは300g前後である。果皮色は黄色で、‘王林’より黄色が強い。果形は円形である。肉質はやや粗雑で果汁が多く、食感がよい。食味は甘味が強い。貯蔵性は冷蔵で6月末までと非常に良い。貯蔵やけ等の貯蔵障害や心かび病はほとんど発生しない。



発表資料

1. 育種部（2001）. りんご育成系統「あおり15」の特性. 平成13年度指導奨励事項・指導参考資料：84-85.
2. 工藤 剛（2001）. 県りんご試育成系統「青り15号」及び極早生青り系統の特性. 季刊りんご技術 65：16-17.